

第9計;中国人は、何故昼間は美人が少ないのか。

—中国の諺「隣の家の実を食べる（美人は狙われる）」—
—中国人にとって日本は「人でも山でも水源地も美人」なのです—

日本人の友人達から、「先生が連れてくる中国人女性は何故美人ばかりなのか」とよく聞かれる。都度私は「知らない」と答えます。私に美的感覚がないのかも知れない。昔、テレビ局にもよく出入りしました頃、違和感を覚えたが男性のアナウンサーでも化粧をしていたのを思い出します。そして、劇団の役者でオーナーを兼ねてる人であった時、「いつも美人に囲まれていてどう思いますか」と聞くと、「皆普通の子ですよ」と言った言葉を思い出す。あの役者のK・Aさんも美的感覚がなかったのだろうか？見飽きたのであろうか？

私の場合も、一つは見慣れてしまったのと、中国人の有名な女優さんにも何人かあったが、皆普通の女の子という印象がある。

”O”さん溥儀の最後の皇妃「李玉琴」の配役



“K（たいていの日本人が美人という経営者、中国の雑誌にもよく掲載されている）”さんは10年前から日本に来れば私の家に泊り、私の部屋で

よく話をしました。今年北京に訪ねた時、「Kさん年を取ったのか」と聞くと、「当たり前でしょ」と溜め息をつきます。そして「なぜだか解る？」と聞かれました。「今私は中国人を使うのに草臥（くたび）れた。」と言うのです。「若い副社長が結婚してくれと言って煩（うるさ）いのよ。それで私は、今出来るだけ嫌いになってもらう為に努力中なの。」と確かに深刻です。

更に彼女は「今の中国では、昼間美人であれば夜の女と思われ、私の友達なんかみんな目立たない努力を一生懸命しているよ。」と言う。私が「それなら、化粧品は買わないのか？」と言うと、「勿論、一流を使っているよ、外国の人が北京に来るとき、高層部の人とか有名な会社の人に会うときはね、先生だけは別、中国の父も母も姉も兄夫婦も全部先生を親戚と思っているし、私も日本のお父さんと思ってるから。でも先生が日本人を連れてきた時は先生に恥をかかせない為、絶対わたしかっこよくするよ。」と長文で答えました。

私が中国の諺「隣の家の杏（あんず）の実を食べる（美人は狙われる）」という、彼女は「先生そんなことまで中国で知ったの？」とあきれられる“美人？社長”でありました。

彼女の父を知らない中国のスポーツ選手はまずいません。オリン

ピック金メダル選手は必ず訪問して感謝します。例えば 110 メートルハードルの”劉翔”でも。



そういえば、私が中国で合う女性達は、中国で出会うとき、昼間化粧をしていません。地下鉄に乗っても、観光地に行っても見ない。



烏鎮で男が女役を演じる日本の浄瑠璃のような舞台を見ました。



美人は、昼は家にいるのです。隠れているのです。

夜カラオケ店に行くと美人が多いのです。昼間美人であれば変な中国人男性に狙われやすいという事であるかもしれません。また女性が女性から嫉妬されるらしいのです。

但し（関羽の）祭りの時は昼間でも美人を見かけます。私の美的感覚でも・・・。



中国人にとって日本は「人でも山でも水源地も美人」なのです。

中国人の征服欲であります。ある中国人の男性が言いました。「中国には顔が美人の女性はたくさんいるが、話をすると厭になる、心の美人が少ない」と・・・。

中国人の「美人の計」は凄いです。私がたまたまある地方政府の招待で中国に行ったとき、私が週刊誌の「週刊現代」と「週刊ポスト」をホテルの机に置いておりました。表紙は「藤原のりか」と「広末涼子」でありました。政府の幹部がまったくそっくりの中国人を連れてきて私にマッサージを勧めるのです。当時私は中国語が全く話せませんでした。2010/10/16